

No.	意見	対応
1	七国山の由来について、七つの国の内、信濃と下野は七国山から展望することは難しいように思う。	様々な説があることから、具体名は削除しました。(P36、P73)
2	北園について、景観作物エリアの拡張という取組に限定していることから、体験型の取組も含めると良い。	農体験については基本方針1「農体験の提供」として西園の取組として位置づけていますが、北園の個別計画の際に検討事項とします。(P33)
3	西園は全体的に少ない20代の来訪者が多く利用するエリアであることから、その層に向けた計画を入れた方が良い。	基本方針3「ウェルカムゲート機能の充実」を位置づけ、若年層の利用拡大を進めます。(P37)
4	四季彩の杜の楽しみ方として花に加え、食についても加えた方が良い。	基本方針3「新たなにぎわいと心地良い空間の提供」では飲食施設の設置を位置づけています。(P36)
5	四季彩の杜の活用方法の絵を入れると分かりやすい。どのような人がどういう関わりを持って楽しんでいるのかというイメージが湧かない。	3基本理念にイメージのイラストを追加しました。(P20、P21)
6	薬師池とリス園との間に連絡通路を設け、人が簡易に行き来できる取組を検討することが望ましい。	基本方針3「観光スポットのリニューアル」に隣接地との連絡路を位置づけています。(P36)
7	「公共交通機関の利用推進と交通誘導サインの設置」は、駐車場の空き状況が分かる電光掲示サインの設置による対応がよいのではないか。	基本方針4、コラム内のポイント1「利用推奨駐車場と誘導経路」にて位置づける予定です。(P41)
8	薬師池では、日除けのためテントを設置している来訪者を多く見た。日陰の施設を充実させると良いと思う。あわせてテント設置等の公園利用ルールを決める必要があるのではないか。	基本方針3「新たなにぎわいと心地良い空間の提供」は薬師池の飲食施設を位置づけています。具体的なルール作りについては、担当課と連携しながら今後検討を進めます。(P36)
9	薬師池に新しく花回廊を整備することも良いが、ツバキ園は花の名札が落ちていて良好な管理状態ではないと思っている。既存の花資源の維持管理をしていくことも重要である。	基本方針5「みどりの適正な保全」には既存の緑の維持管理を位置づけており、担当課と連携しながら今後検討を進めます。(P43)

No.	意見	対応
10	南園の再開発についてはフィールドアスレチック以外も検討した方が良い。加えて、七国山やダリア園との間に位置する住宅地について、住宅地と公園とのバランスについて検討するべき。	南園については中長期的に検討を進めるため、南園の個別計画の際に検討事項とします。 住宅地については、今回の計画では民有地であることから具体的な記載をできませんが、担当課へ申し送り事項としたいと考えます。
11	自由民権資料館だけ薬師池公園から離れているので、自由民権の森の中に、自由民権資料館を新設しても良いと思う。	今回の計画では、自由民権資料館はエリア外の施設であります。今後担当課と連携しながら具体的な方法を検討していきます。なお、未来への継承「歴史文化資産の復元や活用」において位置づけています。(P48)
12	基本方針④の包括的な管理運営について、現状の体制のどのような点が問題であり、具体的にどのような取り組みを行っていけば円滑に進むのかが計画の図からはわからない。	基本方針5「包括的なエリア管理」の図については包括エリア指定管理者を中心とした図に修正しました。(P43)
13	10年間で売りとなるようなものが一体何なのかが、わかりにくい。四季彩の杜を一体として捉えて、それぞれの園単独ではできない相乗効果を出していくところがポイントではないか。強弱があるとわかりやすいのではないか。	3基本理念のイラスト「四季彩の杜を楽しむ」に表しました。(P20、21) また、基本方針5「包括的なエリア管理」に施設間の連携を位置づけています。(P42)
14	民有地についても地域連携の対象であるイメージを共有したいので、簡易な表現でよいが記載することを検討いただきたい。	6計画の推進体制のイメージ図では地域住民を含め作成しました。(P50)
15	前回意見して追加された7章の四季を織りなす四季彩の杜の計画をもっと前面に押し出してはどうか。	3基本理念に旧7章は移動しました。(P22～P29)
16	第2回の会議資料の概要版は本編の抜粋版ということだが、実際の概要版では未来図のビジョンが書いてあり、個別の具体的なところは詳細に書く必要は無いと思う。	概要版はイラストを中心に作成を行います。
17	地形図を見ると、それぞれの施設間の移動による、景観の切り替わり等がわかりやすい。地形自体を楽しむのが本エリアの特徴。	2 四季彩の杜を取り巻く状況(1) 魅力・ポテンシャル「起伏のとんだ地形が生む独特の景色と地形的連続性がもたらす回遊の楽しさ」として魅力として位置づけを行いました。(P11)

No.	意見	対応
18	<p>地域の人にも楽しめるということが無いとなかなか上手いかなと思う。地域の方のレクリエーションの場としての魅力を高めるという視点が重要。</p>	<p>委員会意見による「自然・景観を見ながらウォーキング」、「本土シマリス」、「収穫体験」はそれぞれ基本方針4「フットパスコースの提供」(P38)、基本方針2「新しい小動物とのふれあいと学習機会の提供」(P34)、基本方針1「農体験の提供」(P33)として位置づけ具体的な内容がわかるよう文章も修正しました。</p>
19	<p>ウォークブルや歩く楽しみがあると思う。移動が困難な方のためにもグリーンスローモビリティがあるとよい。</p> <p>リス園からダリア園へはかなり距離がある。自然豊かで癒される地域だからこそ簡単に移動ができる手段も検討した方がよい。</p>	<p>基本方針4「多様なモビリティの導入」では施設間で利用できる移動方法としてグリーンスローモビリティについても導入を進めていきたいと考えています。(P38)</p>
20	<p>西園は、観光の拠点とはいえ、現状では駐車場の不足、大型バスへの対応ができない等の課題がある。</p>	<p>基本方針4「ハイ・シーズンの渋滞解消」や「駐車場収容力の向上と円滑な案内誘導の実施」で臨時駐車場の設置や既存駐車場の収容台数を増設等を位置づけいています。(P39)</p>